

おおさかふゆ 大坂冬の陣

豊臣家さいごの冬



一六一四年の冬、徳川家康は、大軍で大坂城を囲みました。相手は、豊臣秀吉の子・秀頼です。きっかけは豊臣家を作ったお寺のかねで、そのかねには「国家安康」（国の平和をねがう言葉）という四つの文字がほられていました。家康は「名前の『家』と『康』をはなればなれにされた。失礼だ！」とおこったのです。

大坂城には、秀頼を守るために全国から十万人近い武士が集まりました。名の知られた武士も集まり、中でも有名なのが真田幸村です。幸村は城の南に「真田丸」という出丸（小さなとりで）を作って、徳川の大军を何度もはね返しました。

せめきれない家康は作戦を変え、外国の大ほうを城にうちこみました。そのたまは、秀頼の母・淀殿のいる建物の近くまで飛んできました。城内はふるえ上がり、豊臣家はついに休戦（戦いをひと休みすること）を受け入れました。

しかし休戦のじょうけんは、大坂城のほりをうめることでした。ほりは、てきが城に近づくのをふせぐ大切な守りです。ほりを失った大坂城は、もうお城を守ることができません。そして次の年の夏、ふたたび戦いが始まるのです。

せんたく(1)

ぶんしように合うものはどれですか？

選んで○をつけましょう。

- ① 秀頼は家康の子である
- ② 幸村が徳川軍をふせいだ
- ③ 家康は城をせめず帰った

せんたく(2)

幸村が作った「真田丸」とは何ですか？

選んで○をつけましょう。

- ① 大きな船
- ② 小さなとりで
- ③ 新しいお城

きじゅつ(1)

かねにほられていた四つの文字は何でしたか？

きじゅつ(2)

休戦のじょうけんは何でしたか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) みどり

(2) ふえ

(3) れんしゅう

こたえ

おおさかふゆ
大坂冬の陣

せんたく

(1) ②
(2) ②

きじゅつ

(1) こっかあんこう
国家安康

(2) おおさかじょう
大坂城のほりをうめること

かんじ
漢字

(1) みどり
緑

(2) ふえ
笛

(3) れんしゅう
練習